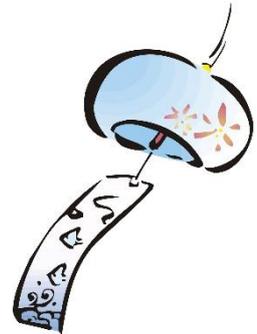


お念仏とともに

残暑お見舞い申し上げます



圓滿寺 住職 棘 惠淨
副住職 棘 惠真

●法座の御案内●

秋季彼岸会永代経法要

日時 9月20日(日)午後1時半

講師 本願寺布教使 石崎 博毅 師

講題 仏さまにあう

ご承知のようにコロナウイルスの蔓延で密を避けるため寺院法座は中止が相次いでいます。今回は、誠に勝手ながらご遠方の御門徒方にはご遠慮いただき、ご近所の御門徒に限定して法座を実施致します。また、9月5日(土)時点で感染状況を考慮し、万一中止の場合は参詣予定の御門徒方に中止連絡をさせていただきます。感染拡大防止と密の状況を避けるための苦肉の策であることをご了承下さい。

【圓滿寺 〒553-0004 大阪市福島区玉川4-4-25

TEL 06-6441-2791】

お盆に因んで(若院法話)

「浄土真宗は楽で良いですね。私が嫁いだ家は真言宗で、ご先祖をお迎えするためにお膳や精霊馬、提灯などを準備しなくてはなりません。」 お盆が近づくとこのようなことをよく耳に致します。

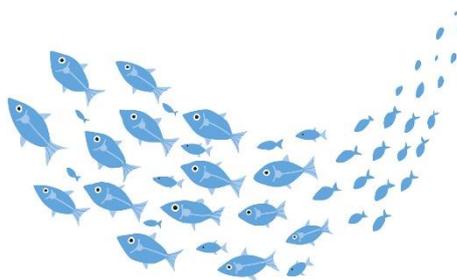
精霊馬とは、お盆ではご先祖が帰ってまた戻るための乗り物が必要なので、胡瓜と茄子を馬と牛に見立てて飾るといわれております。何故、馬と牛かと申しますと、帰ってくる時は馬に乗って急いで帰って頂き、戻る時は牛に乗ってゆっくり戻って頂くという意味があるそうです。なるほどなかなかよく考えられているなと思います。

それでは何故浄土真宗ではこうしたことを準備しなくても良いのでしょうか。端的に申しますと、それは私たちがご先祖を願うより前にもう既に願われているからであります。こちらが先祖を慕い、願う気持ちも大切ですが、ご先祖は阿弥陀如来様と共にいつでもどこでも私たちに働きかけて下さいます。そして私たちがお念仏に出会い、「南無阿弥陀仏」とお念仏し阿弥陀如来様に手を合わせることを何より慶ばれます。私たちが今「南無阿弥陀仏」とお念仏申しているのは、阿弥陀如来様がはたらきかけて下さり、そしてご先祖様や過去の様々な方々のお導きによるものであります。「阿弥陀如来様、ご先祖様、有り難うございます。南無阿弥陀仏。」これがお念仏を頂く私たちの在り方です。

もしお盆に何も準備することが無く、もの足りないと思われる場合は、お供え物を西瓜や夏野菜にされては如何でしょうか。また、提灯の代わりに蓮などのお花も良いかもしれません。しかし、最も大事なことは、ご先祖を偲びつつ、「南無阿弥陀仏」と阿弥陀如来様に手を合わせお念仏申すことであります。

「恋しくば、南無阿弥陀仏を称うべし、我は六字の中に住むなり」

という歌があります。ご先祖や亡き人は私がどれほどたくさんのお供え物をする事よりも、お念仏に出会い「南無阿弥陀仏」と申す私の姿を慶ばれるのです。



◆ホームページを開設しました◆

この度、圓滿寺ホームページを開設しました。ホームページに掲載した住職挨拶文を掲載します。インターネット、Microsoft Edge や Google などの検索で「福島 圓滿寺」と入力し、圓滿寺ホームページをクリックするとアクセス出来ます。QR コードからスマートフォンでも見る事が出来ます。不慣れで手探りの状態です。御覧いただき、皆様のご意見やご感想等を賜りたいと存じます。

URL <http://fukusima-enmanji.org/>

住職の挨拶

圓滿寺ホームページへようこそ。この度圓滿寺ホームページを開設いたしました。

圓滿寺の寺院活動、沿革等を御門徒(御檀家)の皆様方に知っていただき、圓滿寺をより身近に感じていただきたい、このような目的で開設しました。寺院は本堂をはじめ大きな建造物で非常に目立っております。しかし何をしているのか、どのような活動を行っているのか、御門徒の皆様方にも一般の皆様方にもあまりよく知られていません。

圓滿寺の法座等に足を運んでくださる御門徒方には理解できても、なかなか足を運んでくださらない御門徒方、仕事や子育てに忙しい方々にはどのような活動をしているのか全くわからないのではないのでしょうか。このホームページを通して、どうか圓滿寺を身近に感じていただき、法座等にも参詣いただき圓滿寺の様々な活動に参画していただきたいと存じます。また、圓滿寺の様々な活動をご理解いただき、ご協力いただければと存じます。スマートフォン等にもアクセス可能となっております。

また、御門徒と圓滿寺との情報発信のツールとしても活用いただければと存じます。パソコンやスマートフォンで気軽にアクセスしていただき御覧ください。 圓滿寺住職 棘 恵浄

◎坊守日記(その17)◎

圓滿寺仏教婦人会メンバーの北濱啓子さんが東京へ引っ越されることとなり、7月23日にさやかな送別会を開かせていただきました。

これまで長年にわたり、御法座やおみがきのお手伝い等本当にお世話になりました。いつでもまわりの雰囲気明るくする親しみやすいお人柄は、民生委員やボランティア活動等多方面で活躍されてきました。大阪の地を離れられるのはまことに寂しい限りですが、たまには圓滿寺のことも思い出していただき、どうぞお体には十分気をつけていただきますよう念じあげております。